



北海道白樺高等養護学校

コミュニティ・スクールたより

～ 第 3 号 ～

令和7年1月14日(火)

北海道白樺高等養護学校

学校運営協議会事務局

### ■第3回学校運営協議会

12月3日火曜日、第3回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、資料をもとに事務局から「本校の地域貢献について」「本校の教育課程について」というテーマを説明した後、二つのグループに分かれて熟議を行いました。

### ■本校の地域貢献について（進捗状況）

事務局より、3学年の総合的な探究の時間『地域貢献』の授業の進捗状況の説明を行いました。今回は、「白樺を地域にアピールするプロジェクト～輪厚を盛り上げるプロジェクト～」という話題のもと、10月30日に地域の皆様4名に来校いただき、4つのグループに分かれて生徒と対話を行いました。各グループで、生徒たちは講師の先生のお話にじっくり耳を傾けて伺い、その後質問をしたり自分の意見を述べる等の対話を行いました。対話からの意見としては、「本校で製作した製品のネット販売」「地域の方のためにできる除雪等のボランティア」等、具体的な意見や、地域で取組を行うために大切なことをお話しいただいたり、高齢者の困り感や不安感をテーマに対話するグループもありました。また、11月16日(土)に行われました本校の学校祭では、3年生は「地域貢献」の授業で学習した内容をもとに、『白樺クエスト』を実施しました。「北海道で初めて稲作を成功させた町はどこ？」等、北広島市にまつわる情報をクイズにし、校内を巡るクイズラリーを企画しました。来校した地域の方や保護者、卒業生などが楽しむことができる活動となりました。

グループ熟議では、「外部の方と話をすることで経験値が高まった」「発表が苦手な

方もいる。決まったものではなく違った形の発表の仕方を工夫する」「白樺は話しやすい大人に話す選択肢があることは普通校ではない良さ」「中身によっていろいろなパターンを経験することが大事」「自分の興味から活動グループを選んだが、人間関係を広げていくために、これからの時代必要なことではないか」「しらかば店で製品を購入している。ずっとこの地域に住んでいるがい今まで交流はなかった」「利用している美容室にしらかば店の案内がポスティングされていた。効果的であると感じた」「実際に授業の講師として生徒と関わり、知ることができよかった」「各グルー



#### <3学年総合的な探究の時間「地域貢献」進捗状況>

##### 「白樺を地域にアピールするプロジェクト」

- ・本校で製作した製品をネット販売する
- ・本校のことを知ることができるQRコードを作成
- ・地域の方のためにできるボランティアを考える  
例えば、除雪、枝切り、ゴミ拾い等
- ・本校の作業体験
- ・美術部など部活動の発表
- ・学校紹介
- ・祭りのお手伝い
- ・花火大会後のゴミ拾い

#### <地域における取組>

- ・あいさつは大切
- ・出会いは明日生きるための切符みたいなもの
- ・やれないことはない、やらない理由を探すのではなく、やれることをやる

#### <高齢者の困り感、不安感をテーマに対話>

- ・身体が思うように動かない  
車の運転ができなくなると、買い物も行きづらい  
除雪 掃除 料理 家事 草取り

プで話し合われた内容を是非共有したら良い」「地域の方との対話を重ねることで今後よくなっていくと考える」「学校祭の白樺クエストはよかった。次年度の活動へ生かしてほしい」「ホームページの更新や QR コード等を活用し、情報発信することも効果的」「地域の方との対話を通して、課題を考え、地域をよくしたいという取組がよい」等の御意見をいただきました。

## ■本校の教育課程について

本校では、西部小学校、北広島高等学校、とわの森三愛高等学校、文教大学附属高等学校の4校と交流及び共同学習を行っています。相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流です。

具体的な取組として、文教大学附属高等学校との交流及び共同学習について、説明しました。文教大学附属高等学校との交流及び共同学習では、文教大学附属高の生徒さんは、1学年で本校の学校見学及び説明を受けます。その上で翌年の2学年で実際に交流を2回実施しています。1回目は、本校生徒が窯業作業の製品の製作方法を文教大学附属高の生徒に教え、製品を製作するという交流です。2回目は、文教大附属高の生徒が、本校生徒に調理を教え、実際調理する授業です。

成果としては、自分の知識や技能を相手に伝え説明することができたり、同世代との学習活動を通して、自分について表現したり、相手の話を聞いたりして、継続的な交流することができました。今後は、窯業科としてだけでなく、他学科、学年、学校全体の取組としての検討



## ■今後

本日の熟議内容を受け、生徒が主体となって地域を知り、地域とともにできることを考えていきます。今後はさらに発展させ、様々な形で地域に出て、地域の皆様に本校についてより知っていただけるため交流の機会となるようにしていくよう今後の教育活動に活かして参ります。

次回のコミュニティ・スクールは3月11日（火）、令和6年度学校評価報告、令和7年度グランドデザイン（案）の承認です。どうぞよろしくお願いいたします。

### （文教） 二学年食物料と （白樺） 二学年窯業科の交流

#### ① 本校会場で交流 ② 文教大学附属高等学校へ訪問

##### 学習内容

- (1) 挨拶、自己紹介
- (2) 窯業作業の説明
- (3) 製作
- (4) 釉薬選び
- (5) 感想等発表
- (6) 挨拶

##### 学習内容

- (1) 挨拶、自己紹介
- (2) 調理作業の説明
- (3) 調理
- (4) 試食交流
- (5) 感想等発表
- (6) 挨拶

### 成果

- 自分の知識や技能を相手に伝え、説明することができた。
- 同世代との学習活動を通して、自分について表現したり、相手の話を聞いたりして、交流することができた。
- 相手校と継続的な交流が行うことができたとともに、納品を通して、製作、販売、活用を知り、自己の役割や責任について、知ることができた。

### 課題

- 自信をもって、関わったり説明したりすること。
- 窯業科としてだけでなく、他学科、学年、学校全体の取組について検討が必要がある。

が必要という説明がありました。

各グループの熟議では、「本校の生徒も顔が見えることがよい」「どちらの生徒にとっても有益となっている」「共生社会という考えからもよい」「同世代の交流で得意を生かせるのがよい」「中学校との交流では、かえで学級が学校見学や白樺店の見学をしているが、それ以上の交流がないため、今後交流を検討したい」という御意見をいただきました。